

2010年

1月26日（火曜日） - シルクのまちづくりへの挑戦 -

本日、「シルクのまちづくり市区町村協議会」が全国24の自治体、国の行政機関、関係事業者の皆さんにより設立をみることができ、関係者の皆さんのご尽力に心から感謝を申し上げます。

絹、シルクは、いうまでもなく、シルクロードに象徴されるように悠久の歴史の時代から世界の東西の文化や産業の交流を牽引してきた人類の尊い宝であり、我が国においても古くから養蚕、製糸、織物、染色などの過程を通じて、産業や文化の根幹に関わり、生活や風土に根付き、シルクにより広く地域の産業や文化が育まれました。

現在、シルクを巡っては関連製品の最終需要の減少、国際環境の変化など厳しい環境に直面していますが、シルクの可能性は広大だ。繊維産業の素材として和装に限らず洋装や日用品など多くの可能性を有しているし、今後はそれにとどまらず、素材自体、環境や健康、医療などの分野でも有用だ。更にはその歴史文化との関わりからすれば産業観光や教育などにも活用され、このように非常に多くの分野の広がりの中で、未来を開いていく可能性や魅力がたくさんあるのが、シルクであります。

今後、シルクに関わる業界や自治体の垣根を越えて、シルクの大きな可能性の開拓への展望を共有しながら、ともに力を合わせて、シルクの可能性を大いに育み自ら育まれるまちづくりへ挑戦していきたい。